

＜基本的な考え方＞

- 圏域形成初年度であり、特段の情勢変化等もないことから、中長期的な将来像など、ビジョンの根幹部分についての変更は行わない
- 2020年度予算編成や「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」の策定、連携市町村のニーズ等を踏まえた、新規・拡充事業を掲載
⇒20代の道外流出の緩和などの必要性を踏まえ、人材の育成・確保に資する取組に更に力を入れることとした
- 2019年度の連携事業の実施に伴い、事業内容の進展等があった連携事業については、記載内容を変更

＜主な変更箇所・理由等＞(資料5(ビジョン改定案本体)では赤字記載)

ページ	主な変更内容	変更理由等
9	<図表Ⅱ-2>を追加	市町村別の人口動態を示す図表が本編に記載されていないため
40~41	「3 圏域と持続可能な開発目標(SDGs)」を追記	SDGsの17のゴールとの結びつけることで、より効果的な将来像の実現を目指すため
44~71	連携事業名のほか、事業概要や連携市町村など、全てが赤字で記載されている連携事業	2020年度から、新たに連携事業として掲載したもの(全7事業) <ul style="list-style-type: none"> ● 先端技術の活用に関する支援 ● 生産性向上に向けた支援 ● 高齢者の社会参加に向けた取組の推進 ● 子どもの社会体験活動等の場の創出に関する取組の促進 ● 札幌市東京事務所を活用した首都圏PR等の促進 ● さっぽろ圏人材育成・確保基金の造成 ● 持続可能な圏域づくりに向けた人材の育成・確保
	記載内容の一部が赤字になっている連携事業	連携事業の拡充や、2019年度実施に伴う進展等により、記載内容を変更したもの(抜粋) <ul style="list-style-type: none"> ● 創業の促進 ● 産学官連携に関する体制の構築の促進 ● 救急医療の維持・向上等に向けた取組の推進 ● 保育サービスの向上に向けた取組の推進 ● 消防の連携・協力の推進 ● 圏域内農産物の消費促進 ● 地元定着等の促進 ● 企業によるまちづくり活動の促進 <p style="text-align: right;">等</p>